

— 冬の住まいの悩みに関する実態調査 —

冬の住まいの悩み1位は「光熱費の高さ」、続く2位は「室内の寒さ」**約8割が近年の光熱費高騰に不安を持っていることが判明！****若い世代ほど悩みの対策をする傾向に****省エネルギー経験者の8割以上が家計の節約効果を実感している！****省エネルギーに補助金があることが知っている人はわずか2割の結果に**

住宅の建築からリフォーム、マンション大規模修繕まで、建物の価値を強くする株式会社カシワバラ・コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役：柏原伸介）は、より快適な住まいを考えるきっかけづくりを目的に、「冬の住まいの悩みに関する実態調査」を全国の20歳～69歳の男女600名を対象にインターネットにて実施しました。本調査は一般の方を対象に行われたものです。

【調査概要】

- 調査内容 : 冬の住まいの悩みに関する実態調査
- 調査期間 : 2022年12月10日（土）から12月11日（日）
- 調査対象 : 20歳～69歳の男女600名
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査機関 : シグナルリサーチ

調査結果サマリー

- **冬の住まいの悩み、1位は「光熱費の高さ」、次いで「室内の寒さ」。**
築年数が長い住宅ほど、悩みがある傾向に
若い世代ほど冬の住まいへの悩み対策をしていることが判明！
- **近年の光熱費高騰で「住まいの省エネ化」に関心が高まる！**
冬の光熱費高騰に不安を抱く人が多い中、約半数が省エネルギーの関心度が上がったと回答
- **省エネルギー経験者の8割以上が家計への節約効果を実感！**
オススメする理由は、冬の住まいの悩みを解決するためだった!?
- **マンションでも省エネルギーができることを知らなかった人は8割**
マンションはLED照明の交換や節水型トイレの設置など小規模リフォームが人気
- **省エネルギーに補助金があることを知らない人の割合は・・・**
冬の住まいの悩みへの対策をしていない理由、6割が「費用がかかるから」と回答
一方、省エネルギーに補助金があることを知っている人はわずか2割の結果に

※調査結果をご利用いただく際は、必ず「カシワバラ・コーポレーション調べ」と明記ください。

※小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※本調査における「省エネルギー」とは、室内における暑さ、寒さなどの快適性向上（熱的快適性の向上）及び、暖冷房や給湯などの設備機器で消費するエネルギーを少なくすること（省エネルギー）を目的として実施するリフォームを指します。

< 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先 >

カシワバラ・コーポレーションPR事務局（プラチナム内）担当：神谷、杉原

TEL：03-5572-6072 FAX：03-5572-6075 MAIL：kashiwabara2019@vectorinc.co.jp

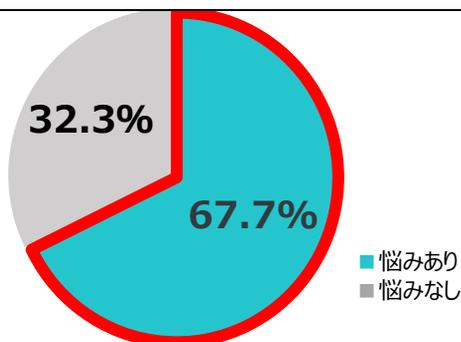
冬の住まいの悩み、1位は「光熱費の高さ」、次いで「室内の寒さ」 築年数が長い住宅ほど、悩みがある傾向に 若い世代ほど冬の住まいへの悩み対策をしていることが判明！

対象者600名に対し、「現在冬の住まいに関する悩みはありますか」という質問をしたところ、1位は「光熱費が高い」の43.2%、2位は「室内が寒い」の32.2%という結果となりました。築年数別で回答を見ると、築年数3年未満の住宅に住む67.7%の人が悩みがある状況に対し、築40年以上の場合、81.1%に上がり、**築年数が長いほど、冬の住まいに対する悩みがあることが分かりました。**



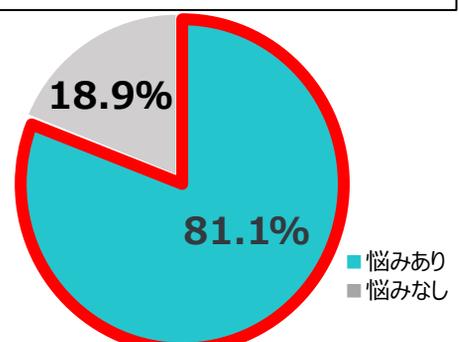
あなたは、現在冬の住まいに関する悩みはありますか。当てはまるものを全てお選びください。(複数回答、n=600)

**築年数3年未満の住宅に住む
約68%が冬の住まいに悩みありと回答**



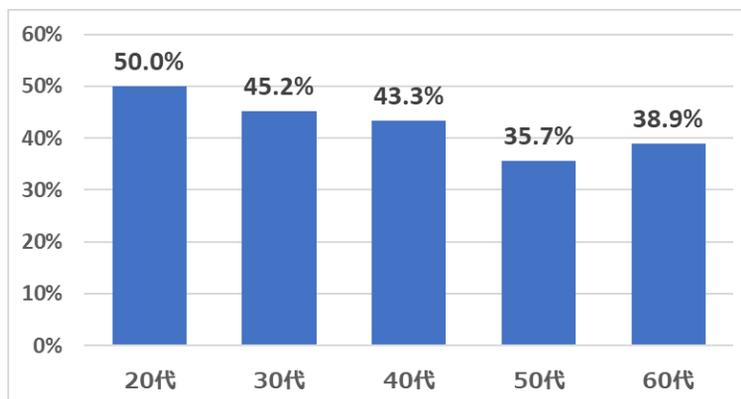
あなたは、現在冬の住まいに関する悩みはありますか。
(単一回答、築年数3年未満の住宅所有者、n=65)

**築年数40年以上の住宅に住む
約81%が冬の住まいに悩みありと回答**



あなたは、現在冬の住まいに関する悩みはありますか。
(単一回答、築年数40年以上の住宅所有者、n=53)

また、600名に「冬の住まいに関する悩みに対して、対策をしていますか」という質問をしたところ、「対策をしている」と答えた人は、20代が50%、30代が45.2%、40代が43.3%、50代が35.7%、60代が38.9%と、**年代が若い人ほど、冬の住まいに関する悩みに対して、対策をしていることが分かりました。**

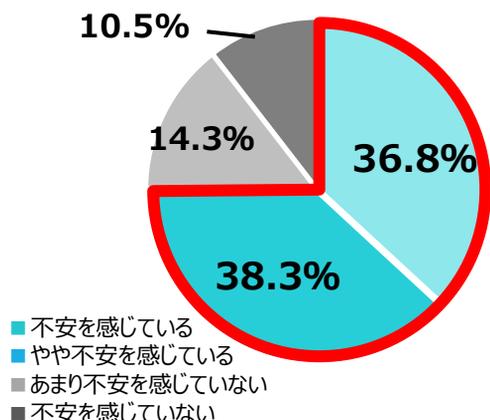


近年の光熱費高騰で住まいの省エネ化に関心が高まる！

冬の光熱費高騰に不安を抱く人が多い中、約半数が省エネルギーフォームの関心度が上がったと回答

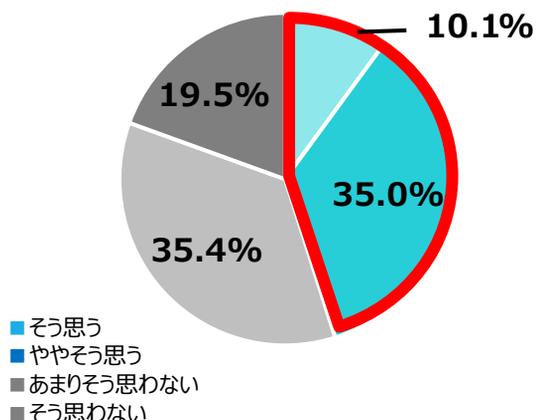
対象者600名に対し、「近年の冬の光熱費高騰に対して不安を感じていますか」と質問をしたところ、「不安を感じている」「やや不安を感じている」と回答した人は75.1%という結果になり、**多くの人**が冬の光熱費高騰に不安を抱いていることが分かりました。一方、省エネルギーフォーム経験のない523名に「現在光熱費が高騰していますが、省エネルギーフォームへの関心度が高まりましたか」という質問をしたところ、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は45.1%となり、**約半数**が近年の光熱費高騰で省エネルギーフォームへの関心が高まっていることが分かりました。

約8割が近年の冬の光熱費高騰に対して不安を感じていると回答



近年の冬の光熱費高騰に対して不安を感じていますか。
(単一回答、n=600)

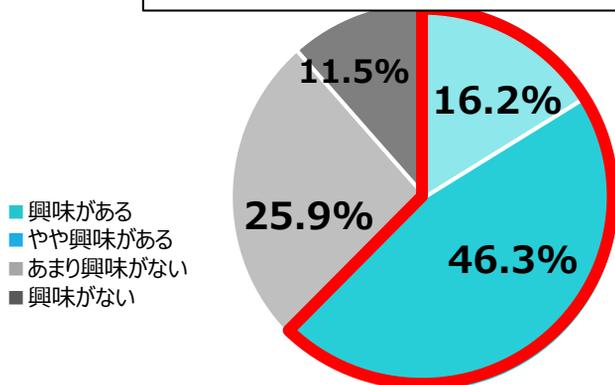
約半数が近年の光熱費高騰で省エネルギーフォームの関心が高まったと回答



現在光熱費が高騰していますが、あなたは省エネルギーフォームへの関心度が高まりましたか。(単一回答、省エネルギーフォーム未経験者、n=523)

また、「光熱費を削減できる省エネルギーフォームに興味がありますか」という質問をしたところ、冬の光熱費高騰に対し「不安を感じている」「やや感じている」と回答した382人のうち、62.5%が「興味がある」「やや興味がある」と回答をしました。一方、冬の光熱費高騰に対し「あまり不安を感じていない」「不安を感じていない」と回答した141人のうち、「興味がある」「やや興味がある」と回答した人は15.6%となりました。**冬の光熱費高騰に対し不安を感じている人ほど、省エネルギーフォームに興味を持っていることが分かりました。**

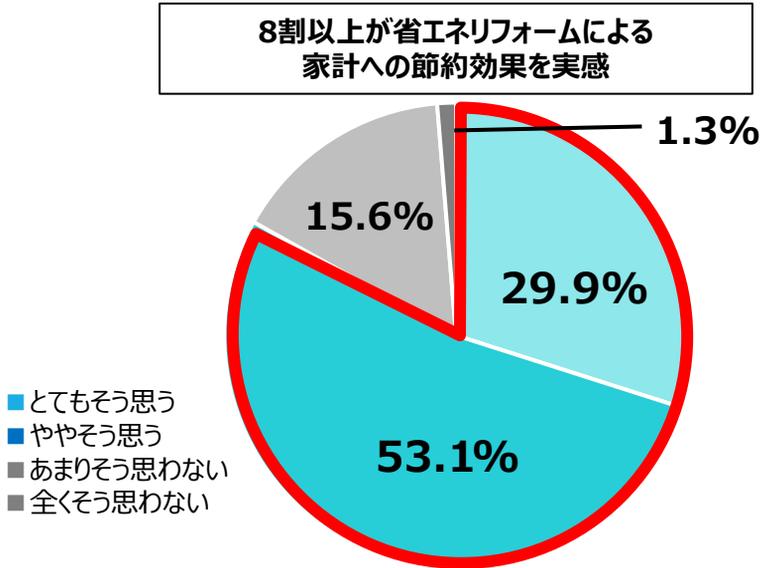
冬の光熱費高騰に不安を感じる人の6割が省エネルギーフォームに興味があると回答



光熱費を削減できる省エネルギーフォームに興味がありますか。
(単一回答、冬の光熱費高騰に不安のある人、n=382)

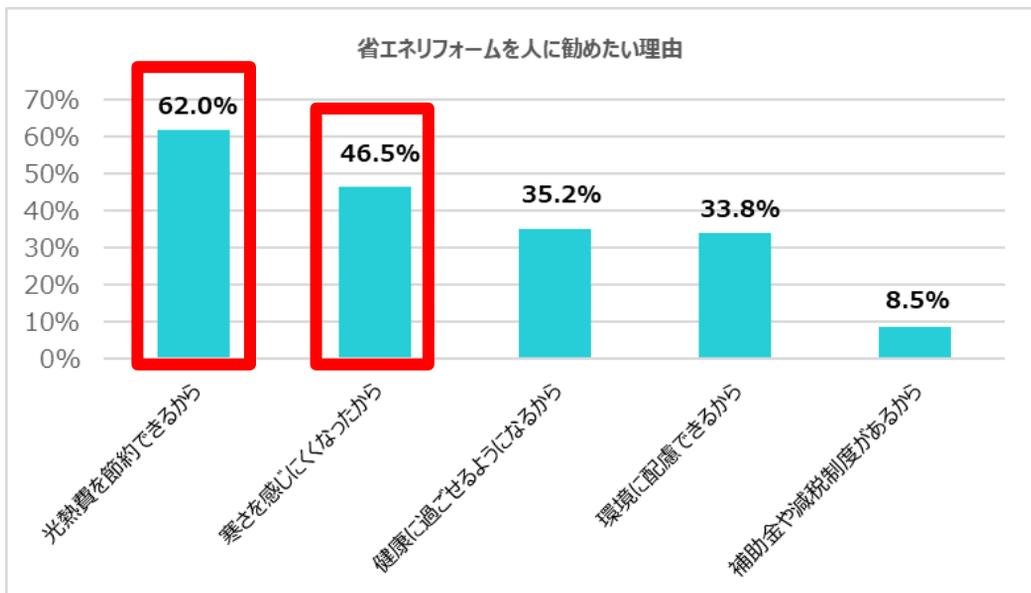
**省エネリフォーム経験者の8割以上が家計への節約効果を実感！
オススメする理由は、冬の住まいの悩みを解決するためだった！**

省エネリフォーム経験者77名に対し、家計への節約効果を質問したところ、「実感している」「やや実感している」が83.1%となり、省エネリフォームによる節約効果を多くの人が感じていることが分かりました。



省エネリフォームをした結果、あなたは家計の節約効果を実感していますか。(単一回答、省エネリフォーム経験者、n=77)

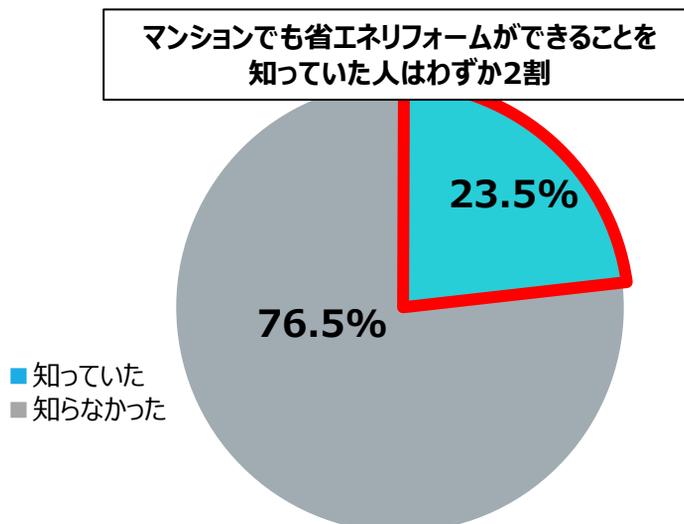
また、省エネリフォームを人にお勧めしたい理由を質問したところ、1位は「光熱費を節約できるから」が62.0%、2位の「寒さを感じにくくなったから」は46.5%となりました。冬の住まいの悩みトップ2である「光熱費の高騰」「室内の寒さ」を解決することが理由で省エネリフォームをおすすめしたいと思っている人が多いことが分かりました。



あなたが省エネリフォームを人に勧めたい理由として、当てはまるものを全てお選びください。
(複数回答、勧めたい省エネリフォームがある人、n=71)

マンションでも省エネルギーフォームができることを知らなかった人は8割 マンションはLED照明の交換や節水型トイレの設置など小規模リフォームが人気

節約効果の期待できる省エネルギーフォームは、マンションでも施工可能です。マンションでの省エネルギーフォームの認知度を測るため、マンションなどの集合住宅に居住する268名に、「マンション住まいでも省エネルギーフォームができることを知っているか」質問をしたところ、76.5%が「知らなかった」と回答しました。マンションにおける省エネルギーフォームはあまり認知されていないことが判明しました。



あなたは、マンション住まいでも省エネルギーフォームをできることを知っていましたか。(単一回答、集合住宅居住者、n=268)

省エネルギーフォームに興味があると回答した、一戸建てに居住する131名と集合住宅に居住する130名に「どのような省エネルギーフォームに興味があるか」質問をしました。一戸建てに居住する人は「窓の断熱化」「浴室の断熱化」「床の断熱化」など**断熱工事が上位にランクイン**。集合住宅に居住する人は「窓の断熱化」「LED照明への交換」「節水型トイレへの交換」など**比較的小規模な工事で叶うリフォームが人気であることが分かりました。**

どのような省エネルギーフォームに興味がありますか？

| 戸建て | | マンション | |
|-------------|-------|--------------|-------|
| 1 窓の断熱化 | 56.3% | 1 窓の断熱化 | 59.2% |
| 2 床の断熱化 | 35.1% | 2 LED照明への交換 | 38.5% |
| 3 浴室の断熱化 | 31.3% | 3 節水型トイレへの交換 | 30.8% |
| 4 外壁・屋根の断熱化 | 25.2% | 4 節水型水栓の設置 | 23.1% |
| 5 トイレの断熱化 | 26.7% | 5 床の断熱化 | 20.0% |

カンワバラ・コーポレーション

どのような省エネルギーフォームに興味がありますか。当てはまるものを全てお選びください。
(複数回答、省エネルギーフォームに興味がある人、n=523)

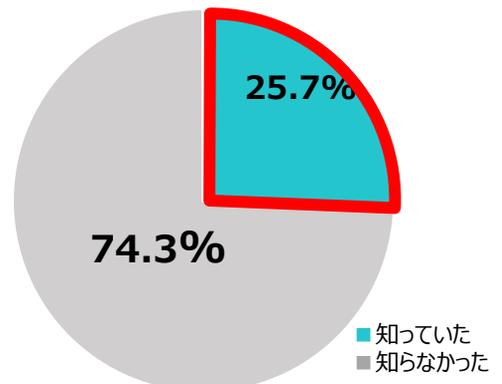
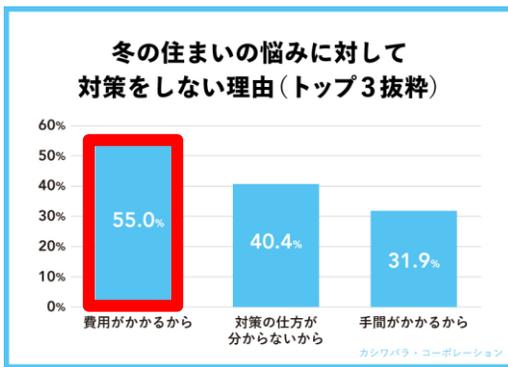
省エネリフォームに補助金があることを知らない人の割合は・・・

冬の住まいの悩みへの対策をしていない理由、6割が「費用がかかるから」と回答
一方、省エネリフォームに補助金があることを知っている人はわずか2割の結果に

冬の住まいの悩みに対して対策をしていないと回答した260名に「対策をしていない理由」を質問したところ、55.0%が「費用がかかるから」と回答しました。一定の要件を満たす省エネリフォームを行なう場合、所定の補助金額を交付する補助金や支援制度が国では用意されています。600名に対し、「省エネリフォームに関する補助金があることを知っていましたか」と質問したところ、74.3%が「知らなかった」と回答をしました。**費用がかかることが理由で冬の住まいの悩み対策をあきらめる人が多い一方で、省エネリフォームに関する補助金の存在を知らない人も多くいることが分かりました。**

冬の住まいの悩み対策をしていない理由、
6割が「費用がかかるから」と回答

省エネリフォームに補助金があることを
知っている人はわずか2割の結果に



あなたが対策をしていない理由として、当てはまるものをお選びください。
(複数回答、冬の悩みへの対策をしていないと回答した人、n=260)

あなたは、省エネリフォームに関する補助金があることを知っていましたか。(単一回答、n=600)

【株式会社カシワバラ・コーポレーションについて】



1949年の創業以来、70年以上「塗装」を軸とした産業インフラの維持・保全事業、業界No.1の実績を持つ石油化学プラント塗装のメンテナンス事業や、マンション大規模修繕事業、戸建建築事業、ビル建築事業、内装リフォーム・リノベーション事業等の「住」の分野を中心とした事業を展開。日本の産業を支え続ける高い塗装技術を武器に、海外へも積極的に展開しています。

創立： 1949年3月

本社所在地： 東京本社：東京都港区港南1丁目8番27号 日新ビル9階
岩国本社：山口県岩国市山手町1丁目5番16号

代表者： 代表取締役 柏原伸介

事業内容： インフラメンテナンス、マンション大規模修繕、建築、内装リフォーム・リノベーション事業等

URL： <https://www.kashiwabara.co.jp/>